

授業科目名		担当講師名		対象学年	
老年看護学概論		中島 久代		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (30)	教室	後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	高齢社会の統計的輪郭・高齢者の健康状態 介護保険 地域包括ケア 高齢社会における権利擁護				
到達目標	老年期にある対象の特性を理解し看護の役割、機能について学習する。 わが国の高齢化問題を理解し、高齢者の家族、地域、医療福祉機関に及ぼす影響や高齢者を取り巻く環境の変革について考察する。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1・2	高齢者模擬体験（高齢者体験セット） 【実習室】
3	高齢者模擬体験の振り返り・発表 【教室】
4	高齢者を知る 高齢者の生活史を理解する（ライフインタビューまとめ）
5	老いるということ、老いを生きるということ（加齢と老化）
6	老いるということ、老いを生きるということ（身体的・精神的）
7	老いるということ、老いを生きるということ（社会的特徴・発達課題）
8	老いるということ、老いを生きるということ（フレイル・まとめ）
9	超高齢社会と社会保障（超高齢社会の統計的輪郭）
10	超高齢社会と社会保障（高齢社会における保健医療福祉の動向）
11	高齢社会における権利擁護 高齢者虐待 身体拘束
12	高齢社会における日常生活支援事業
13	老年看護の定義・特徴・役割・ICF・レスパイトケア
14	エンドオブライフケア
15	振り返り 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験・レポート
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
老年看護学Ⅰ 加齢変化・症状・疾患		長井 安代		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(15)	教室	前期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	高齢者の加齢に伴う身体機能・認知機能の変化 高齢者に特有な症候・疾患・検査・治療と看護				
到達目標	高齢者の健康障害の特徴を理解し、健康レベルに応じた看護について理解する。				
事前学習	授業の該当内容について教科書				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	高齢者のヘルスアセスメント 身体に加齢変化とアセスメント 皮膚、視聴覚、循環系、呼吸器系
2	高齢者のヘルスアセスメント 身体に加齢変化とアセスメント 消化器系、ホルモンの分泌、泌尿生殖器、運動系
3	症候のアセスメントと看護 発熱、疼痛、脱水、嘔吐
4	症候のアセスメントと看護 浮腫、倦怠感
5	検査・治療を必要とする高齢者のアセスメント 検査を受ける高齢者の看護、薬物療法を受ける高齢者のアセスメント 手術を受ける高齢者の看護
6	身体疾患のある高齢者の看護 パーキンソン病、パーキンソン症候群
7	身体疾患のある高齢者の看護 インフルエンザ、肺炎、骨粗鬆症、骨折
8	終講テスト

履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 病態・疾患論 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
老年看護学Ⅱ 日常生活の援助・看護過程		脇田 真由美 中島 久代		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	2(45)	教室 実習室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	高齢者の生活機能を整える看護摂食・嚥下障害の看護、褥瘡の看護				
到達目標	高齢者の生活機能を整える看護について理解する。 (日常生活を支える基本的活動、食事、排泄、清潔、生活リズム、コミュニケーション) 高齢者の生活機能を整える看護技術を実施できる。 高齢者が生活を営むために不可欠な生活行動の力が最大限に発揮できる看護を提供できるような看護過程の展開ができる。				
事前学習	摂食・嚥下のメカニズム				

授業計画

No.	授 業 内 容	
1	日常生活を支える基本的活動、転倒のアセスメントと看護 廃用症候群のアセスメントと看護	中島
2	食事・食生活 摂食嚥下機能の変化、食生活のアセスメント・食生活の支援	脇田
3	排泄 高齢者の排泄ケアの基本、 排尿障害のアセスメントとケア 排便障害のアセスメントとケア	中島
4	清潔 清潔の意義、高齢者に生じやすい健康問題、清潔のアセスメント、清潔の援助	
5	生活リズム 高齢者と生活リズム、高齢者に特徴的な変調 生活リズムのアセスメント、生活リズムを整える看護	
6	コミュニケーション かかわり方の原則、コミュニケーション能力のアセスメント、 高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーション	
7	褥瘡・スキン・ケア	
8	認知機能障害のある高齢者の看護 うつ、せん妄、認知症	
9	演習 起き上がり動作、座位保持、片麻痺のある高齢者へのベッドから車椅子、車椅子からベッドへの移乗動作、	
10・11	演習 摂食・嚥下訓練、嚥下障害がある高齢者への食事介助、口腔ケア、義歯洗浄	脇田
12・13	演習 排泄障害のある高齢者への援助、排泄ケア おむつ交換 清潔ケア 入浴 麻痺のある高齢者の更衣 爪切り	中島
14	演習 褥瘡予防、褥瘡ケア	
15	看護過程 事例紹介（脳血管障害患者、パーキンソン病患者、認知症等） 情報の分析	脇田
16	看護過程 14項目の情報の分析	脇田
17	看護過程 全体像の把握	
18	看護過程 アセスメント・看護問題抽出	
19	看護過程 計画・立案 目標・解決策	
20・21	演習	
22	看護過程 評価 まとめ	
23	終講試験	
履修上の要件		
テキスト、 教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院 新体系看護学全書 老年看護学概論・老年保健 メヂカルフレンド社	
成績評価の方法	筆記試験	
備考		